

● EPODOC / EPO

PN - JP7334084 A 19951222
PD - 1995-12-22
PR - JP19940164458 19940613
OPD - 1994-06-13
TI - LABEL FOR CONTAINER CONTAINING PROCESSED FOOD WITH
PRESERVING AGENT AND COMBINATION OF LABEL FOR
CONTAINER CONTAINING PROCESSED FOOD WITH
PRESERVING AGENT AND CONTAINER
IN - YABE KEIJI; SATO SHINICHI
PA - FUJI FOODS KK
IC - G09F3/00 ; G09F3/02

● WPI / DERWENT

TI - Food storage preserver for ready made dish - has label which has
content information on its upper surface while its rear portion has
adhesive so that it can be adhered directly above ventilation hole of
container
PR - JP19940164458 19940613
PN - JP7334084 A 19951222 DW199609 G09F3/00 005pp
PA - (FUJI-N) FUJI FOODS KK
IC - G09F3/00 ; G09F3/02
AB - J07334084 The preserver is furnished with a label (11) which has
an adhesive on its rear portion while its upper surface (11a) has the
necessary information about the contents inside a container (13).
This container has an upper lid (13a) with a ventilation hole (14)
where the label is directly fixed above during production.
- The label can be slightly detached from one or more of the
ventilation holes serving as an air opening for the container once it
is heated inside a microwave oven.
- USE/ADVANTAGE - For commercial dishes which need to be eaten
within 48 hours after being produced 35 hours beforehand from
factory. Provides easy and cheap food mfg. process which prevents
food contamination due to label adhered unto upper surface of
container lid with ventilation hole. Prevents container from exploding
or becoming deformed while inside microwave oven due to
ventilating hole which can be opened by slightly detaching one
corner of label.
- (Dwg.2/6)
OPD - 1994-06-13
AN - 1996-082947 [10]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-334084

(43)公開日 平成7年(1995)12月22日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F	3/00	Q		
	3/02	V		

審査請求 未請求 請求項の数9 書面 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平6-164458

(22)出願日 平成6年(1994)6月13日

(71)出願人 593118933

フジフーズ株式会社

千葉県船橋市高瀬町24-3

(72)発明者 矢辺 啓司

千葉県船橋市高瀬町24の3 フジフーズ株式会社内

(72)発明者 佐藤 真市

千葉県船橋市高瀬町24の3 フジフーズ株式会社内

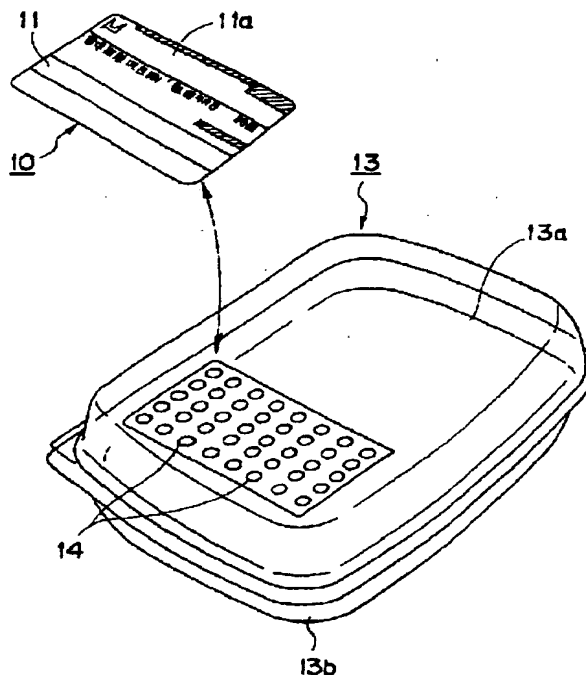
(74)代理人 弁理士 保田 真紀子

(54)【発明の名称】 保存剤付加工食品入り容器用ラベルおよび保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せ

(57)【要約】

【目的】 保存剤を容器の中に投入しないで、ラベルの表示機能と食品に対する保存機能とを持たせることを目的とする。

【構成】 保存剤付加工食品入り容器用ラベルは、表面に加工食品に関連する内容を表示する表示部を設けると共に、裏面に接着剤を塗布し、この接着剤に保存剤を付着した構造である。また、保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せは、所定の位置に少なくとも1個の孔を穿設した保存物を収容しうる容器と、この容器の孔に対応する部分に貼着しうる保存剤付加工食品入り容器用ラベルとより構成した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 表面に加工食品に関連する内容を表示する表示部を設けると共に、裏面に接着剤を塗布し、かつこの接着剤に保存剤を付着したことを特徴とする保存剤付加工食品入り容器用ラベル。

【請求項2】 表面に加工食品に関連する内容を表示する表示部を設けると共に、裏面に接着剤を塗布し、かつこの接着剤に保存剤を収納した袋体を付着したことを特徴とする保存剤付加工食品入り容器用ラベル。

【請求項3】 表面に加工食品に関連する内容を表示する表示部を設けると共に、裏面に接着剤を塗布し、かつこの接着剤に保存剤を収納した袋体の一面を付着してなり、さらにこの袋体の他面に接着剤を塗布したことを特徴とする保存剤付加工食品入り容器用ラベル。

【請求項4】 請求項1乃至請求項3に記載の接着剤は、全面状、分割状、点状、格子状、斜線状などに塗布されていることを特徴とする保存剤付加工食品入り容器用ラベル。

【請求項5】 所定の位置に少なくとも1個の孔を穿設した保存物を収容する容器と、この容器の孔に対応する部分に貼着する請求項1乃至請求項4に記載の保存剤付加工食品入り容器用ラベルとより構成したことを特徴とする保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せ。

【請求項6】 所定の位置に少なくとも1個の孔を穿設した保存物を収容する容器と、この容器の孔に対応する部分に貼着する請求項1乃至請求項4に記載の保存剤付加工食品入り容器用ラベルと、この保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との上から包装を行う包装材とより構成したことを特徴とする保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せ。

【請求項7】 請求項5および請求項6に記載の容器は、保存物を収容した後、互いに周縁部を密着させる上蓋と下蓋とからなり、前記上蓋の所定の位置に少なくとも1個の孔を穿設したことを特徴とする保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せ。

【請求項8】 請求項5に記載の容器は、袋状に構成されていることを特徴とする保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せ。

【請求項9】 所定の位置に少なくとも1個の孔を穿設した保存物を包装する包装材と、この包装材の孔に対応する部分に貼着する請求項1乃至請求項4に記載の保存剤付加工食品入り容器用ラベルとより構成したことを特徴とする保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、保存剤付加工食品入り容器用ラベルおよび保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、例えばスーパーマーケットなどにおいて販売されている惣菜、弁当、調理パンなどの日配商品は、保存期間が限られており、工場で生産されてから35時間から48時間以内で食されることが条件で商品化されている。そして、このような食品を少しでも日持ちさせるために、保存剤を食品と一緒に容器の中に投入するようなことも試みられていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、生産時保存剤を容器の中に食品と一緒に投入させるための手間がかかり、また食品に関連する内容を表示するラベルを容器の外側に別途貼着させるための手間がかかり、製造上厄介であった。また、前記保存剤は、食品と一緒に容器の中に投入されているため、不快感を与えることとなり、保存剤を間違えて食品と一緒に食べてしまう虞もあった。

【0004】 本発明は、上述したような事情に鑑み、生産時保存剤を容器の中に食品と一緒に投入させることなく、ラベルと保存剤とを一体にした保存剤付加工食品入り容器用ラベルを容器の外側から貼着させることにより、製造が簡単となり、コストを低廉とした保存剤付加工食品入り容器用ラベルおよび保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルは、上記課題を解決することを目的とし、表面に加工食品に関連する内容を表示する表示部を設けると共に、裏面に接着剤を塗布し、かつこの接着剤に保存剤を付着したことを特徴とする。

【0006】 また、本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルの好ましい実施例は、表面に加工食品に関連する内容を表示する表示部を設けると共に、裏面に接着剤を塗布し、かつこの接着剤に保存剤を収納した袋体を付着したことを特徴とする。

【0007】 さらにまた、本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルの好ましい実施例は、表面に加工食品に関連する内容を表示する表示部を設けると共に、裏面に接着剤を塗布し、かつこの接着剤に保存剤を収納した袋体の一面を付着してなり、さらにこの袋体の他面に接着剤を塗布したことを特徴とする。

【0008】 本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルの接着剤の実施態様としては、全面状、分割状、点状、格子状、斜線状などに適宜塗布されたものである。

【0009】 本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せは、所定の位置に少なくとも1個の孔を穿設した保存物を収容する容器と、この容器の孔に対応する部分に貼着する前記保存剤付加工食品入り容器用ラベルとより構成したことを特徴とする。

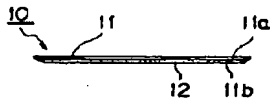
5

容を表示する表示部を設けると共に、裏面に接着剤を塗布し、かつこの接着剤に保存剤を付着したものであり、また保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せは、所定の位置に少なくとも1個の孔を穿設した保存物を収容しうる容器と、この容器の孔に対応する部分に貼着しうる前記保存剤付加工食品入り容器用ラベルとより構成したものであるから、生産時保存剤を容器の中に食品と一緒に投入させることなく、ラベルと保存剤とを一体にした保存剤付加工食品入り容器用ラベルを容器の外側から前記孔に対応する部分に貼着させることにより、製造が簡単となり、コストを低廉とすることができ、保存剤は食品に直接触れるようなことがないため、不快感を与えることがなく、また保存剤を間違えて食品と一緒に食べてしまう虞も生じないなどの効果を有する。

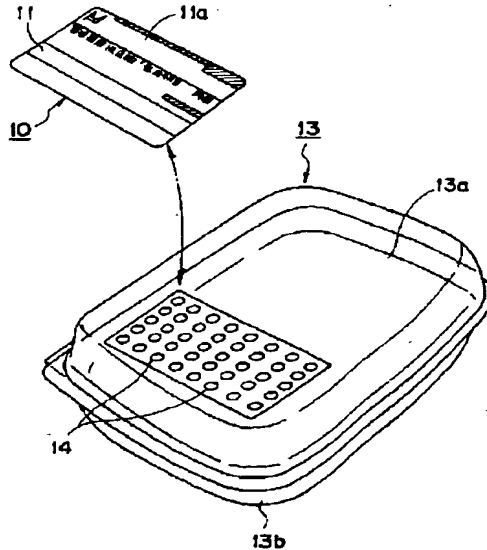
【0027】また、本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルを所要位置に付着させた容器を、電子レンジで加熱させる際、保存剤付加工食品入り容器用ラベルのコーナー部分を少し開けることにより、容器の変形や破裂を防止することができる効果もある。

【図面の簡単な説明】

【図1】



【図2】



6

【図1】本発明による保存剤付加工食品入り容器用ラベルの一実施例を示す断面図である。

【図2】本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せの一実施例を示す斜視図である。

【図3】同側面図である。

【図4】本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せの他の実施例を示す斜視図である。

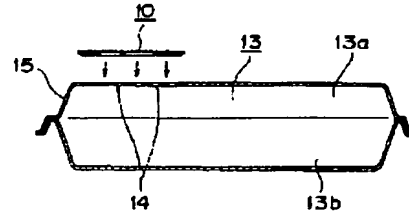
【図5】同斜視図である。

【図6】本発明の効果を説明するための説明斜視図である。

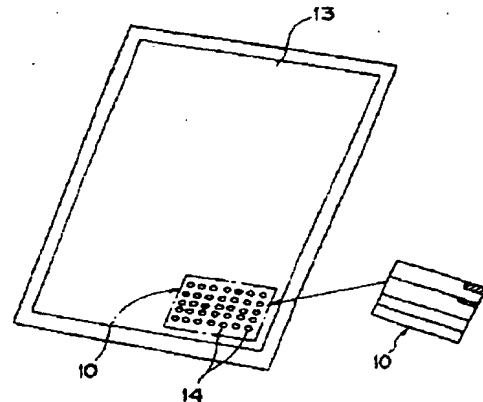
【符号の説明】

- 10 保存剤付加工食品入り容器用ラベル、
- 11 ラベル、
- 11a 表面、
- 11b 裏面、
- 12 袋体、
- 13 容器、
- 13a 上蓋、
- 13b 下蓋、
- 14 パンチング孔、
- 15 包装材。

【図3】



【図5】



【0010】また、本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せの好ましい実施例は、所定の位置に少なくとも1個の孔を穿設した保存物を収容する容器と、この容器の孔に対応する部分に貼着する前記保存剤付加工食品入り容器用ラベルと、この保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との上から包装を行う包装材とより構成したことを特徴とする。

【0011】さらにまた、本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せの好ましい実施例は、所定の位置に少なくとも1個の孔を穿設した保存物を包装する包装材と、この包装材の孔に対応する部分に貼着する前記保存剤付加工食品入り容器用ラベルとより構成したことを特徴とする。

【0012】本発明の容器の第1の実施態様としては、保存物を収容した後、互いに周縁部を密着させる上蓋と下蓋とからなり、前記上蓋の所定の位置に少なくとも1個の孔を穿設したものである。

【0013】本発明の容器の第2の実施態様としては、袋状に構成したものである。

【0014】

【作用】本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せによれば、ラベルの表面に加工食品に関連する内容を表示する表示部を有し、かつ裏面に保存剤を収納した袋体を付着した保存剤付加工食品入り容器用ラベルを、容器や包装材に穿設した複数のパンチング孔に対応して付着させている。

【0015】

【実施例】図1は本発明による保存剤付加工食品入り容器用ラベルの一実施例を示す断面図である。図2は本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せの一実施例を示す斜視図であり、図3は同側面図である。

【0016】図1において、10は本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルで、次のように構成されている。11はその表面11aに加工食品に関連する内容を表示する表示部を設けると共に、裏面11bに接着剤を塗布したラベルである。この裏面11bには、例えばエージレス（登録商標）のごとき脱酸素剤（保存剤）を収納した袋体12を付着してある。前記接着剤は、全面状、分割状、点状、格子状、斜線状など適宜に塗布されている。

【0017】なお、本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルの他の実施例としては、表面に加工食品に関連する内容を表示する表示部を設けると共に、裏面に接着剤を塗布し、かつこの接着剤に保存剤を収納した袋体の一面を付着し、さらにこの袋体の他面に接着剤を塗布したものである。

【0018】図2および図3において、13は惣菜、弁当、調理パンなどの保存物を収容した後、上蓋13aと下蓋13bとを互いに周縁部を密着させて構成した容器

である。この容器の上蓋13aの適宜所定位置には、複数のパンチング孔14（ほぼ4～5mm/φ）が穿設されている。

【0019】前記保存剤付加工食品入り容器用ラベル10は、前記容器13のパンチング孔14に対応する部分に貼着してある。このパンチング孔14に対応する部分は、前記保存剤付加工食品入り容器用ラベル10の外形より狭い範囲である。15はこの保存剤付加工食品入り容器用ラベル10と容器13との上からシュリンク包装あるいは熱シール包装を行う例えばガスバリアー性の高いフィルムからなる包装材である。

【0020】このように、本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベル10は、ラベル11の表面11aに加工食品に関連する内容を表示する表示部を有し、かつ裏面11bに保存剤を収納した袋体12を付着しているから、表示機能が得られると共に、容器13に穿設した複数のパンチング孔14に対応して保存剤を収納した袋体12を付着させると、例えば惣菜、弁当、調理パンなどの保存物の保存期間は、7～14日間またはそれ以上日持ちさせることができる。

【0021】また、本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベル10を所要位置に付着させた容器13を、電子レンジで加熱させる際、レンジアップする前に図6に示すように保存剤付加工食品入り容器用ラベル10のコーナー部分を少し開けることにより、一部のパンチング孔14が露出するため、この一部のパンチング孔14が容器内の空気孔となるので、容器内の空気膨脹や耐熱限界温度などによる容器の変形や破裂を防止することができる。

【0022】図4乃至図5は本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルと容器との組合せの他の実施例を示す斜視図である。

【0023】図4に示すものは、所定の位置に複数の孔14を穿設した例えばガスバリアー性の高いフィルムからなる包装材15によって例えば調理パンなどの保存物を包装し、この包装材15の孔14に対応する部分に、前記保存剤付加工食品入り容器用ラベル10を貼着したものである。

【0024】図5に示すものは、所定の位置に複数の孔14を穿設した袋状の容器13に保存物を収容し、この袋状の容器13の孔14に対応する部分に、前記保存剤付加工食品入り容器用ラベル10を貼着したものである。

【0025】なお、本発明の実施例では、保存剤として脱酸素剤を使用した場合であるが、これに限らず、前記容器に収容される収容物に応じて脱臭剤や除湿剤や乾燥剤などでも良いこと勿論である。

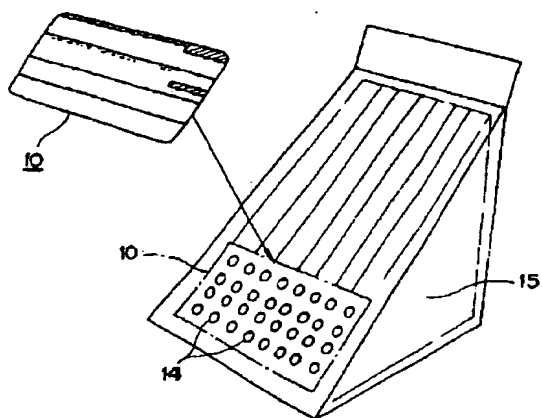
【0026】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明の保存剤付加工食品入り容器用ラベルは、表面に食品に関連する内

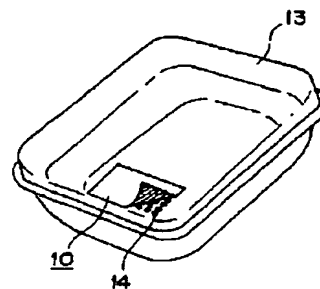
(5)

特開平7-334084

【図4】



【図6】



THIS PAGE BLANK (USPTO)